
「海の生き物を守る会」メールマガジン No. 60

2010.5.16 (日)



Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

「今月の日本の海」 北海道釧路市益浦海岸

北海道東部太平洋岸は、釧路から東と西では著しい景観の違いがある。西側は延々と続く砂浜海岸であり、東側は高い海岸段丘の海蝕崖が続く。この海岸段丘は約 80m くらいの高



さがあり、釧路から厚岸、根室半島の納沙布岬に至り、さらに国後、択捉と続く。道東の太平洋岸は雪が少ないが冬の低温・強風と夏の高気圧の影響で、海岸段丘の上の平原には風衝草原ができ、低地ながら高山植物のお花畑が広がる。海は千島海流（親潮）が流れ、陸には豊富に残る河川両岸の湿原の影響で、有機酸鉄を豊富に含んだ栄養豊富な河川水が沿岸に供給されるため、生産性が高く、海水は濁っている。

潮）が流れ、陸には豊富に残る河川両岸の湿原の影響で、有機酸鉄を豊富に含んだ栄養豊富な河川水が沿岸に供給されるため、生産性が高く、海水は濁っている。

(釧路市益浦海岸にて 向井 宏撮影)

目次 「今月の日本の海」北海道釧路市益浦海岸

67 団体による共同声明全文

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
2. 海の生き物を守る会の現在の活動と予定
3. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
4. 事務局便り
5. 編集後記

●共同声明を発表しました

辺野古への基地建設に強く反対します

「くい打ち栈橋方式」も豊かな海の生物多様性を破壊します

米軍普天間飛行場移設先について、政府は名護市辺野古沖の浅瀬に「くい打ち栈橋方式（QIP）」で新基地を建設し、奄美諸島徳之島や各地の自衛隊基地へも訓練を移転する計画を立てていると報道されています。

辺野古沖の浅瀬には沖縄島では最大の海草藻場があり、外洋に面して連続したサンゴ礁が発達しています。また、深く切れ込んだ大浦湾には巨大なアオサンゴやユビエダハマサンゴの群集があり、嘉陽の沖にも藻場とサンゴ礁が連なっています。これらの海域では、海底の泥のなかから新種のエビ・カニ類が多数発見され、クマノミ類などの魚類も多く、島や岩礁ではアジサシ類が繁殖しています。さらに、絶滅危惧種ジュゴンにとって重要な生息場所となっており、特に辺野古の藻場は、絶滅を回避するための重要な採食場所として確保する必要があります。このように、辺野古、大浦湾、嘉陽の海域は、まさに生物多様性のホット・スポットになっています。

しかし、「くい打ち栈橋方式」による新基地の建設は、数千本の杭打ちによって海底の環境を攪乱し、また、上部構造物の滑走路等によって太陽光が遮断されることから、海草やサンゴは生育できなくなります。さらに、数千本の杭は潮の流れを阻害し、辺野古だけでなく大浦湾や嘉陽の海域にも悪影響を及ぼすことが心配されます。また、杭や上部構造物のメンテナンスのために使用される塗料や薬剤が海域の汚染を引き起こす可能性もあります。このように「くい打ち栈橋方式」は、埋立方式と比べて環境への影響が小さいとは考えられず、同等かそれ以上と予想されます。さらに、新基地での軍事演習は、騒音や墜落の危険など、地域住民の生活に大きな不安を与えることとなります。

普天間飛行場移設先は、1997年の辺野古海上ヘリポート案から二転三転し、昨

年の政権交代によって、辺野古等の沖縄県内には造らないことが約束されながら、多くの県民や国民の世論にも反して再び辺野古に戻るという迷走状態になっています。これでは民主主義が守られているということではできません。

私たちは、政府が約束を守り、辺野古をはじめとして沖縄県内には新たな基地を造らない、また、県外でも住民が反対するところには移転しない方針を確立するように強く訴えます。

2010年は国連の国際生物多様性年であり、IUCN（国際自然保護連合）は2010年には特にジュゴンの保護に取り組むべきと決議しています。第10回生物多様性条約締約国会議（名古屋）から第11回会議までの2年間、日本政府は議長国を務めることになっており、地球の生物多様性保全に大きな責任と義務を負っています。このような時代に軍事基地建設を強行するべきではありません。政府が豊かな海の生物多様性を破壊する新基地建設計画を断念することを強く求めます。

2010年5月14日

JUCONネットワーク、WWFジャパン、グリーンピース・ジャパン、日本自然保護協会、ラムサール・ネットワーク日本、ピースボート、日本環境法律家連盟（JELF）、海の生き物を守る会、「自然の権利」基金、など67団体

1、海の生き物とその生息環境に関するニュース

【国際】

●日本が藻場などの保全強化を提案 生物多様性条約会合

ケニアのナイロビで開かれている生物多様性条約の会合で、日本政府が「藻場などの沿岸域の保全強化」を求める文言を、今年10月に名古屋で開かれる第10回締約国会議(COP10)で採択する決議に盛り込むよう提案した。提案した文言は、「藻場など生態学的に重要な生息域が、沿岸の開発やほかの要因で減少するのを食い止め、そして回復させるために、締約国があらゆる努力をすることを勧める」というもの。きわめて重要な提案だと賛同したい。その提案にふさわしい政策をぜひ進めて欲しいと思う。辺野古の海にくい打ちにしろ埋め立てにしろ、航空基地を作ることは、あきらかにこの提案に反するのではないだろうか。

【全国】

●太平洋クロマグロに規制 来年度からの資源管理計画

水産庁が来年度から実施する太平洋クロマグロの資源管理計画を明らかにした。それには、漁業者への漁獲量の個別割り当て枠を実施することや、2kg未満の幼魚の漁獲を規制することなどが盛り込まれ、これまでに比べてかなり厳しい規制が予定されている。これは、大西洋産クロマグロのワシントン条約での規制に反対した日本が、太平洋クロマグロでも多

くの国からその対応が注目されている事による。太平洋クロマグロの資源減少に対策をとらなければ、あらたな規制が議論される可能性がある判断したためであると考えられている。

その資源管理計画には、6月から8月の産卵期に禁漁とすることも検討されている。しかし日本海側のマグロ漁は、この時期がクロマグロの漁期に当たっているため、境港など日本海側のマグロ漁業者から反発もあがっている。この資源管理計画がどの程度実施に移されるか、効果はどの程度あるか、多くの国が今後の行方を見守っている。

【北海道】

訂正：前号の打瀬網の記事に誤りがありました。以下に指摘いただいた釧路水試の堀井貴司さんからのメールを転載し、訂正させていただきます。ありがとうございました。

「うみひろも 59号の打瀬網の記載で、北海道で行われているのはオンネトー（温根沼）ではなく、野付湾、尾岱沼（オダイトウ）です。

今でも初夏と秋にホッケイエビ漁業で用いられています。かつては漁場まで帆走していたらしいのですが、今では船外機で漁場まで行き、そこで網を曳いています。

北海道内の他の漁場ではカゴでホッケイエビが漁獲されています。しかし、カゴ漁で漁獲されるエビには餌臭がついてしまいます。ゆでると油が浮くようですし、私も食べ比べて見ましたが、特に、抱卵している秋のエビでは餌臭が気になります。それに比べて打瀬網では餌臭がつかないので、若干高値で取引されていると聞いています。地元の観光資源という意味合いはとても大きいのですが、単価のこともあり、カゴ漁にシフトする方向にはありません。

生きたまま刺身にすると青臭くてイマイチ美味しくないのですが、ゆでたエビの中では、味は最高なのではないでしょうか。生きてる内にゆでないと極端に味が落ちるのが不思議です。

地元では「運動会はエビがなけりゃ話にならない」ほど生活に密着した資源であり、打瀬網とともに、とても大切にされています」

●津軽海峡フェリーからイルカウォッチング

今年の春も津軽海峡にイルカの群れが集まってきている。青森ー函館フェリーから、数十頭のイルカの群れが見られることが多くなった。現れるのはカマイルカ。5月中旬の今が出現のピークである。津軽海峡で見られるイルカの80~90%はカマイルカで、体長は約2m。鎌のような三角形の背びれが特徴的である。

●国内最古の深海二枚貝の新種化石発見

深海に棲む二枚貝シンカイヒバリガイの仲間の新種の化石が、北海道浦幌町の川付近で発見された。化石は合計 94 個見つかり、そのうち最も大きい貝は 4.5cm あった。発見した上越教育大学の天野和孝教授の調査によると、約 3 千万年前のものとみられ、シンカイヒバリガイの仲間の化石としては国内でもっとも古い時代の化石となる。世界でも 2 番目に古いという。

【関東】

●漁獲量が記録的な減少 09年の水揚げ

茨城県の昨年度の海面漁獲統計がまとまったが、総漁獲量は 148,216 トンで、昭和 30 年代に漁獲統計を取り始めてからもっとも少なく、記録的な減少となった。近年は約 20 万トン前後を水揚げしていたが、昨年度は最上位魚種のサバ類が 28.8%減、2 位のカタクチイワシが 19.0%減と落ち込んだ。一方、マイワシは昨年より 2 倍に増えた。県の漁政課は、「回遊魚は変動が激しいので、昨年度も変動の幅内の変化なので、極端に不漁というわけではないと説明している。

【東海】

●ウミガメの産卵期を前にごみ拾い 遠州灘海岸で地元住民ら 6500 人

静岡県浜松市内の遠州灘海岸にアカウミガメが産卵に来られるように、18km にわたる砂浜海岸を約 6500 人の人々が集まってゴミ拾いをした。「ウエルカメクリーン作戦」と名付けられたこの催しは、毎年行われていて、浜松市長を先頭に地元の自治会や企業、学校、NPO など 91 団体が参加する一大イベントとなった。とくに今年 3 月まで放映された NHK のテレビドラマ「ウエルかめ」の人気にあやかろうと名前を付けたこともあり、多くの人々が参加した。今年で 21 回目を迎えるが、拾ったゴミは、合計 7.82 トン。ゴミを拾うのもいいが、これだけのゴミが捨てられていることも問題だ。一方、遠州灘海岸の砂浜も、砂の供給が減少していることもあり、全国の砂浜海岸の例に漏れず、砂浜の消失が続いている。全国の砂浜でゴミ拾いは盛んに行われているが、砂浜の消失を根本的に解決しようという行政の取り組みはいっこうに見えてこない。ゴミが無くなってきれいになっても、砂浜が無くなってしまえば、ウミガメは産卵に来ることができなくなる。

●アオサギが人里で大量に営巣 糞や鳴き声の被害

愛知県西尾張地方でアオサギによる糞や鳴き声による被害が増えている。かつては河川敷や森にいたアオサギが、公園や神社の木に集まってきたため、神社の天然記念物に指定されているクロガネモチの木に集団で営巣をしている。神社では神木が枯れることを心配している。一宮市萩原町の万葉公園では、集団営巣をしていたアオサギの巣を市が重機を使って破壊したため、アオサギの飛来が減ったという。しかし、生物多様性条約の COP10

が開かれる名古屋近辺で、アオサギを排除することには批判も多い。

数千羽のサギ類が生息する東名阪自動車道の弥富、蟹江インターチェンジの緑地帯では、共生の試みを始めている。サギが営巣を行っている場所をフェンスで囲って「サギの生息空間」として設定、今後共存ができるかどうか注目されている。サギ類が増えたのが事実かどうか、里近くに営巣場所を変える必要が出てきただけかもしれない。自然との共生には、自然の実態をよく調べる必要がある。

●保護のスナメリ やや体調回復し泳ぎ始める

今年 2 月に名古屋市西区の新地蔵川に迷い込んでいたオスのスナメリが保護されたが、体調がやや回復したため、名古屋港水族館で一般のプールで泳ぎ始めた。このスナメリは体長が 1.75m、体重 58kg とほぼ人間の大人と同じくらいの大きさだが、事故か病気のために体が S 字状に曲がっており、ゆっくりとしか泳げない。保護されたときは衰弱していたが、現在は食欲も出て体調は回復してきたが、同水族館では飼育を続けるか海に返すかの判断に迷っている。

●四日市の公害現場で環境“学校” 元教諭らが開設

三重県四日市市は公害の原点とも言うべきところだが、この小中学校で社会科の授業で公害問題を教えた経験のある元教師が、四日市市塩浜・磯津地区で学習グループ「磯津環境学校」をスタートさせた。今年 3 月に定年退職した萩森繁樹さんが中心になった取り組みで、5 月 1 日から最初の授業を始めた。最初の授業として行われたのは、野鳥観察会。塩浜の鈴鹿川河口で、日本野鳥の会三重県支部の市川、安藤両氏が指導、小学生の親子ら約 50 名が参加した。今後月 1 回のペースで学習会を開き、公害に関わってきた人たちから話を聞いたり、吉崎海岸の埋め立て計画などについても勉強するという。

今回は、植物をテーマに 6 月 5 日実施予定。問い合わせは、萩森さん (059-374-0891) へ。

【近畿】

●ハマボウ観賞の木道を有志が整備

和歌山県白浜町富田川河口付近に生育するアオイ科の植物ハマボウの群落をもっとみんなに見て貰おうと、住民の有志が群落の中に板を渡して周回コースを完成させた。周回コースは町道から群落の中に入り、再び 50m 先の町道に出てくるように設定されている。ハマボウは、熱帯や亜熱帯の海岸近くに生育する落葉樹で、ハイビスカスによく似た黄色い大きい花をつける。沖縄では近似種のオオハマボウが分布している。どちらも「ゆうな」という別名でも知られ、その生育環境からマングローブ植物とも言われている。ハマボウは本州では関東以西に見られる。もとは各地で見ることができたが、海岸の護岸工事や海岸道路の建設などで急激に減少、和歌山県の準絶滅危惧種に指定されている。

富田川と高瀬川に挟まれた河口付近の湿地には約 200 本のハマボウが自生しており、貴重な残存植生で保全されるべき群落と考えられる。

●鯨食の太地町民の毛髪に高濃度のメチル水銀

水俣病の原因になったメチル水銀が鯨類に高濃度に蓄積されていることは、多くの研究者の調査で明らかになっているが、鯨を食べる機会が多い和歌山県太地町の住民の毛髪から、世界保健機構(WHO)の安全基準を大幅に超える濃度のメチル水銀が検出された。調査をしたのは環境省の国立水俣病総合研究センターで、太地町からの依頼によるもの。調査した 1137 人のうち、43 人が WHO の神経症状が出る可能性があるといわれる 50ppm を超えた。最大値は 139ppm。これらの人の多くが 1 週間に 1 回以上、鯨の肉を食べていた。しかし、現在のところ水銀中毒の症状を示した人はいなかったという。

町民全員の平均値は、男性 11.0ppm、女性 6.63ppm だったが、日本の 12 道県 14 地域の平均値に比べると 4 倍以上の高い濃度であった。調査は昨年 6～8 月と今年 2 月の 2 回行われたが、結果はほぼ同じであった。調査の前 1 ヶ月の間に鯨を食べた人と食べなかった人との間には明らかに濃度に差があり、センターでは鯨の摂取と水銀濃度には相関が見られるとしている。

中毒学の研究者は、「公害地域以外では極めて高い数値だ。神経症状が出る可能性がある 50ppm をはるかに超える住民もいる。健康への影響が心配される。とくに胎児や循環器への影響を注視していく必要がある。鯨類を継続的に口にするのは控えた方がいい」と述べている。水銀汚染で世界中の鯨類から高濃度の水銀が蓄積しているという中で、捕鯨を存続させるために国民に鯨を食べることを奨励している現在の政策は、深刻に考え直す必要があるのではないだろうか。

●和歌山県の漁獲量 過去最低の記録

和歌山県農政事務所の漁獲統計で、県の昨年度の海面漁業（養殖業を含む）漁獲量は 30,259 トンと前の年に比べて 19% の大幅減となった。とくに中・小型の巻き網漁が不振で、サバ類は 26% 減、ムロアジ類は 29% 減などシラスやサンマなども軒並み減少した。養殖も 22% の減少で、その主力はマダイ。

日本全体でも昨年の漁獲量は減少しているが、その幅は 2.9% 減。全国平均に比べて和歌山県の減少は際だっている。

●オニヒトデ見つからず 田辺湾沖島で捕獲調査

和歌山県の NPO「内之浦湾を良くする会」は、昨年が続いて今年もボランティアのダイバーら 9 人が、田辺湾の沖島の西側の約 2000 m² の範囲を潜り、オニヒトデの駆除を試みたが、約 1 時間の潜水では、オニヒトデは見つからなかった。昨年 6 月に和歌山大学と環境保護

団体が共同で白浜町臨海沖の四双島周辺のサンゴ群集でオニヒトデが蝟集しているのを発見、1ヘクタールに15匹以上いたことから、サンゴへの食害が広がる可能性があるとして昨年からは沖島でも捕獲調査に乗り出した。昨年の駆除数は4匹。いまのところ沖島付近にオニヒトデの大量発生は認められていない。

●鳴き砂保全へハワイの画家が協力

環境保護団体「サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン」の招きでハワイ在住のアメリカ人画家ビル・ブルーデンさんが鳴き砂で有名な京都府京丹後市網野町の琴引浜を視察した。ブルーデンさんは、リゾート開発が進むハワイのオアフ島で環境保全活動を行っており、自身の油絵を販売してその売上金を環境保護団体に寄付したり、ポストカードへの利用を無償で許可したりしている。

琴引浜の環境保護団体「琴引浜の鳴き砂を守る会」の案内で琴引浜をゆっくりと見て回り、写真を撮って絵の題材を探した。また、鳴き砂の保全活動の現状を聞き、自分の絵をポスターやTシャツに利用して保全活動に役立てる手法を話し合った。ブルーデンさんは「琴引浜はハワイのハナウマ湾のように美しい」と話していた。これからハワイへ帰って琴引浜の油絵を描き始め、今週までには描き上げるという。

【中四国】

●シベリアオオハシシギ 山陰で初記録

鳥取県米子市彦名新田にある米子水鳥公園にシギ科のシベリアオオハシシギが一羽いることが確認された。この種は体長35cmくらいで、黒く長い嘴を持ち、足も黒く長い。赤褐色の体で、シベリアや中国東北部で繁殖し、東南アジア、オーストラリアで越冬する渡り鳥。日本で見られるのは非常に珍しく、山陰地方では初めての記録となる。シギ類といっしょに浅瀬で餌のゴカイ類を探して食べているのが観察された。

●「上関原発」中止求め署名簿追加提出 合計85万人

山口県上関町長島の田ノ浦に中国電力が上関原発建設を進めている問題で、田ノ浦の正面にあり、現場海域を主な漁場としている祝島の住民らが、全国から集めた原発建設を中止するよう求めた署名簿23万8875人分を経済産業省の担当者らに提出した。署名は昨年10月に提出した61万2613人に追加するもの。この署名で原発中止を求める署名は合計約85万人に上った。署名簿を提出したのは、「原発に反対する上関町民の会」「長島の自然を守る会」などから約50名が上京。福島みずほ社民党党首も立ち会った。

代表して岡本博之県民会議議長が「住民の理解と世界に誇る自然を守ることなくして原発はあり得ない。まず埋め立てを止め、問題解決を図るべき」と求めた。対応した経産省資源エネルギー庁原子力立地・核燃料サイクル産業課課長補佐は、「工事の中止を求める考えはない。建設を進める。理解いただきたい」と、原発建設ありきの姿勢を露わにした。

●ニホンアワサンゴを水族館で飼育展示

山口県周防大島町の沖に群生しているニホンアワサンゴを、NPO「自然と釣りのネットワーク」理事の藤本正明さんが採取し、同町の施設「なぎさ水族館」に持ち込んだ。同水族館では、ニホンアワサンゴを飼育し、ムツサンゴなどと同じ水槽で展示を始めることにした。

【九州】

●埋め立て地 “動植物の楽園”に 北九州に日本最大のビオトープ

福岡県北九州市若松区にある産業廃棄物処分場の埋め立て地は、埋め立ててから約 20 年が経過し、ベッコウトンボなど絶滅危惧種も棲み着いている。48 ha の広さを持つこの埋め立て地は、産業廃棄物で満杯になった後は放置されており、凹んだところに水が溜まり湿地、淡水池、草原ができています。30 種の絶滅危惧種が生息しているほか 500 種以上の生き物が生息するなど自然が再生しつつある。北九州市ではこの埋め立て地を開発する計画を持っていたが、経済情勢の変化などから開発を放棄、自然を保全することに決め、「響灘ビオトープ」と名付け、市民を対象に月 1 回の見学会を開いたり、遊歩道を整備する予定。2012 年春に正式オープンする。ビオトープとしては、滋賀県長浜市の「早崎ビオトープ」の 17 ha を超える国内最大の大きさになる。今月 22 日に第 1 回の見学会を開く。すでに希望者は満員で締め切られた。

産廃処理場にこれだけの自然が再生したのは、とりもなおさずいっさい管理しないで放置してきたことが大きい。それをビオトープと称して遊歩道を造り、人を入れるなど、管理のあり方が今までのような観光事業であれば、おそらく自然は再び劣化し始めるだろう。

●玄界灘の海砂採取 ようやく環境や漁業影響調査へ

瀬戸内海で取り尽くした後、ようやく禁止規制が掛かった海砂採取は、今では玄界灘と沖縄周辺で盛んに行われている。その問題点については一部の研究者から指摘されてきたが、佐賀県は海砂採取が海の環境や漁業にどのような影響があるかを検討する委員会を設置し、ようやく海砂採取への対策へ踏み出した。検討委員会は委員長に荒巻軍治前佐賀大学理工学部都市工学科教授で、ほかに委員として 7 名の海洋環境や水産工学の学識経験者で構成されている。佐賀県では、できるだけ早く環境影響調査を実施したいとしており、第 1 回の検討会議では、調査項目や方法などについて意見を出し合ったようだ。しかし、検討委員には工学関係の委員が多く、生き物を扱う委員がほとんどいないのが気になる。

●諫早市、長崎県、自民党県議団など 開門反対の論理矛盾

政府・与党の諫早干拓事業検討委員会が「開門調査の実施が適当」とする報告書を赤松農相に提出したことを受けて、農相は 5 月中に開門調査を行うことを明らかにする方向を示

唆している。これに対して、諫早市の宮本明雄市長は長崎県庁を訪れ、中村知事に「地元の同意のないまま開門調査を行うことのないように、国に申し入れて欲しいと要望した。要望を受けて中村知事も、これからも開門反対にしっかり取り組むと述べ、開門調査にあくまで反対していくことを明らかにした。市長から知事に渡された要望書には、開門調査の問題点として、「防災機能の喪失」「営農の損害」「有明海の水産業や自然環境の破壊」があげられている。

一方、長崎県の自民党県議団は、「地元の同意無く開門調査することを容認しない」との声明を発表した。声明は「防災や農業、漁業、環境に被害が生じないという確証をアセスで科学的、客観的に得られるまでは、開門調査をしない」と現時点での「開門反対」の立場を明確にした。

この人たちの恥知らずには驚かされる。「水産業や自然環境の破壊」がこの人たちが推進してきた諫早干拓事業で起こったことは、科学的にもすでに明らかになっている。「環境に被害が生じないという確証をアセスで科学的、客観的に得られるまでは」干拓事業をしない、となぜ干拓する前に言わなかったのか。一日も早く、潮受け堤防の開門によって諫早湾内の環境を取り戻すべく努力をする必要がある。韓国でもセマングムの巨大潮受け堤防が建設されたが、環境に配慮して常に開門して海水を湾の奥まで入れており、それで何の問題もない。

●水銀汚染防止条約の採択会議 水俣市に誘致

鳩山由紀夫首相が、国際的な水銀汚染防止に向けた条約を「水俣条約」と名付ける提案をしたことを受けて、熊本県の蒲島郁夫知事は同条約の採択会議を水俣市に誘致したいという考えを表明した。国に実現を働きかける。

●日南平山海岸でウミガメ産卵始まる

宮崎県日南市平山の平山海岸で5月10日、今年初めてのアカウミガメの産卵が確認された。産卵された87個の卵は、ただちに近くの市営孵化場へ移された。孵化した後に、同海岸に放流される予定。ウミガメの卵を孵化場で孵化させることについては、自然のままに孵化させるべきだという意見もあるが、砂浜の保全が進まない中では、まだ保護のためには仕方ないとするところが多い。

●宮崎市沖にジンベエザメ

宮崎市の沖合で船に乗っていた男性が体長9mほどのジンベエザメが泳いでいるところを見つけ、写真に撮った。宮崎県内ではジンベエザメが泳いでいる姿を見ることは珍しいと専門家は言っている。約10分間、船の後ろについて静かに泳いでいたという。

【沖縄】

●普天間問題 再び辺野古沖に焦点

鳩山首相が普天間問題についての政府原案を明らかにした。それによると、普天間基地の機能のいくつかを徳之島を始め、沖縄県外のいくつかの場所に移し、海兵隊のヘリコプター基地は、辺野古の沿岸にくい打ち方式で飛行場を作って移設するという全体を一つのパッケージとするものだった。しかし、「最低でも県外」と言っていた首相の心変わりに、沖縄県の人々は反発を強めている。辺野古沿岸に再び基地移転の計画が帰ってきた。ジュゴンをはじめ、辺野古と隣接する大浦湾の海は貴重な海の生き物のすみ処でもある。「辺野古の海に基地を作ることは自然への冒瀆」と言い切ったはずの鳩山首相の再度の心変わりを期待したい。

WWF ジャパン、日本自然保護協会らとともに、海の生き物を守る会も賛同して共同声明を発表した（記事の最初のページ参照）。

●ジュゴン 辺野古沖に現る

おりしも、普天間基地の移設が取りざたされている名護市東海岸の海域では、ジュゴンが出現、5月12日の朝、ゆったりと泳いでいる姿が確認された。辺野古から嘉陽の海にかけては環境省・防衛庁も調査結果から「ジュゴンの生息に重要な海域である」と認めている場所である。共同声明では「シュワブ前の浅瀬にはジュゴンのエサとなる良好な状態の海草藻場が分布していて政府が提案する栈橋方式であっても海草藻場が消失する上に波や海流の変化で周辺の藻場の分布も消失させる恐れがある」と指摘、警鐘を鳴らしている。

●社民党は政府案(辺野古移設)を容認せず

社民党は、くい打ち方式であろうと辺野古に普天間基地の代替え施設を作ることを含む政府案には賛成しない方針を決めた。鳩山首相が辺野古へのくい打ち方式での移設を政府案に入れることを強行しようとする場合は、連立政権から離脱することになってもやむを得ないとの態度を固めた。民主党の山岡国会対策委員長は「政府案に将来的にはグアム、テニアンに移設する」との文言を書き込めば社民党は合意できるかと聞いたのに対して、社民党は確実な担保がなければ容認できないとの考えを確認した。

2. 海の生き物を守る会 現在の活動と予定

●第1回海の生き物を守る講演会・観察会 南紀白浜で

今年度第1回目の「海の生き物を守る会」講演会および観察会を以下の要領で実施します。多くの方の参加をお待ちしています。

講演：「ダーウィンが愛したフジツボ（仮題）」

講師：倉谷うららさん（フリーライター）

フジツボに魅せられた倉谷さんに、フジツボの魅力を語っていただきます。聞けば聞くほど、フジツボのおもしろさに気づくことでしょう。

日にち	2010年6月26日（土）
時間	講演会 9:30～10:30, 観察会 10:30～13:00
場所	和歌山県西牟婁郡白浜町瀬戸 講演：京都大学瀬戸臨海実験所（白浜水族館）講義室 観察会：実験所周辺の海岸
参加費	無料
その他	持ってくるもの：長靴もしくは濡れてもよい運動靴など。 タオル。水着、水中メガネ、弁当、カメラ、図鑑などは随意。子供も、大人も楽しめます。
お問い合わせ	hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp 向井までお問い合わせください。

3. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

【関東】

●「がたモニ」調べよう干潟の生きもの

日時：5月28日（金）9:30-14:30、6月12日（土）9:30-16:00

場所：葛西臨海公園鳥類園

内容：干潟の生きものを知るために、貝やカニなどの生きものを定期的に調査します。

定員：5月28日（日）10名、6月12日（土）40名

費用：無料

NPO法人 生態工房

「がたモニ」とは、

東京湾の豊かな自然を回復させるために整備された都立葛西臨海公園と葛西海浜公園。なかでも東なぎさと西なぎさの人工干潟は東京湾で残り少ない干潟として、大切な生物のすみかになっています。その沖合に広がる自然の干潟、浅瀬が「三枚洲」です。

「がたモニ」は、江戸前の三枚洲干潟を守る市民参加の活動です。干潟の生きもののモニタリング、生きもののすみかを守る野外活動、干潟の生きものを知る観察会等を通して三枚洲の自然に親しみ、未来へと伝える活動です。

●海辺の「ナチュラリスト」講座

NPO 法人 OWS では海辺の自然や生きものと親しみ、楽しみながら自然を守るための基礎的な知識や方法を学ぶ講座を開くことになりました。このプログラムは、OWS のネイチャーガイドが実施するもので、海辺特有の自然や生きものの観察方法や接し方、楽しみ方を実際の海辺で実践してもらうことによって、海辺ファン、自然ファンを増やそうという取り組みです。参加者には全員、修了証（ナチュラリストカード）が発行されます。

開催日 : 5月29日（土）～30日（日） 1泊2日

開催場所 : 三浦半島 ※現地集合現地解散となります。

最少催行 : 4名

参加費 : メンバー : 13,800円 / 一般 : 16,000円 ※宿泊・食費・交通費は別途

詳しくは、こちらをご覧ください。 <http://www.ows-npo.org/activity/classroom/index.html>

●第53回 海のトークセッション

「フジツボ～不思議の玉手箱～」

ゲストスピーカー 倉谷うらら（海洋生物研究家）

磯海岸に遊びに行けば、必ず目にする「フジツボ」 「フジツボ」は貝の仲間？いえいえエビやカニと同じ甲殻類なのです。誰もが良く見る生き物なのに、その実態はあまり知られていません。「フジツボ」を心から愛する倉谷うららさんが、その魅力を余すことなく解説します。お話を聞き終わった時には、きっとあなたも「フジツボファン」になっているはずですよ。

開催日 2010年6月10日（木） 19:00～20:30 (18:30 受付開始)

会場 モンベルクラブ渋谷店 5F サロン
渋谷区宇田川町 11-5 モンベル渋谷ビル

参加費 800円

申込み OWS事務局⇒ <http://www.ows-npo.org/activity/ts/index.html#ts53>

●鎌仲ひとみトーク

「未来を求めて旅したカメラ ～映画監督が語るエネルギー最前線～」

パタゴニア横浜関内ストアで、映像作家の鎌仲ひとみさんのトークがあります。

- スピーカー：鎌仲 ひとみ（映像作家）
- 2010年5月20日（木） 19：30～ 横浜ストア（要予約：定員50名）
 山口県上関町田ノ浦、瀬戸内海に残る貴重な生物の宝庫とされるその場所や周辺は、絶滅が危惧される多様な希少種が多く生息し、豊かな漁場でもある。そこには現在中国電力の原子力発電所建設計画がある。予定地の対岸に浮かぶ小さな島、祝島では漁業を生活の糧として千年も前から自然と共にある暮らしが続いてきた。島民は豊かな海を埋め立てる原発建設を阻止しようと28年闘い続けている。この祝島にカメラを向け、また同時にスウェーデンにおける持続可能な社会を構築する人々の取り組みを一本の映画に描く鎌仲監督から日本のエネルギーの未来、田ノ浦に残された多様な生物のつながりのメッセージ、持続可能な社会とは何かを問いかけ、ともに考える1時間半。映像をまじえてお話いただきます。
- 問い合わせ・予約：パタゴニア 横浜・関内
 Tel: 045-681-9035
http://www.patagonia.com/web/jp/patagonia.go?assetid=8236#0520_yokohama

●持続可能な未来を求めて—映画上映と講演

全国600ヶ所以上で上映されてきた『六ヶ所村ラプソディー』より4年。鎌仲ひとみ監督待望の最新作映画『ミツバチの羽音と地球の回転』完成お披露目上映会開催決定！
 前売チケットは4/3（土）より発売開始！（チケットぴあ、グループ現代）

- 2010年5月28日（金・満月）
- 会場：聖心女子大学（定員300名）
 〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-3-1（地下鉄広尾駅徒歩3分）
<http://www.u-sacred-heart.ac.jp/access/>
- プログラム
- 開場 14:00 上映 15:00 トーク 17:00 終了 19:00
- 上映後、トークセッション：鎌仲監督、祝島よりゲスト
 司会：加藤久人（NPO 法人懐かしい未来）
- 資料代
 前売：1300円 当日 1500円（大人、学生、シニア、障がい者）
 中学生以下 500円（前売、当日共通。前売チケットは1300円でご購入いただき、当日会場で差額分を払い戻します。）
 席を必要としない子どもは無料です。託児有（要予約）。祝島物産、祝島写真展、書籍販売、DVD販売など。
 チケットぴあでの購入用Pコード 556-354
- 主催：グループ現代／『ミツバチの羽音と地球の回転』制作プロジェクト
- 協力：永田佳之研究室 NPO 法人懐かしい未来

●「持続可能な未来を求めて—映画上映とミニトーク」

- 2010年6月4日（金）四谷区民ホール（定員400名）
 - 2010年6月5日（土）四谷区民ホール（定員400名）
- 〒160-8581 新宿区内藤町 87 番地 TEL:03-3351-2118 [グーグル地図](#)
携帯サイト <http://shinjuku-kuminhall.com>
- プログラム
開場 18:00 上映 19:00 トーク 21:00 終了 21:30 （6/4、6/5 ともに）上映後、鎌仲監督ミニトーク
 - 主催：グループ現代／『ミツバチの羽音と地球の回転』制作プロジェクト
 - 資料代
前売：1300円 当日 1500円（大人、学生、シニア、障がい者）
中学生以下 500円（前売、当日共通。前売チケットは1300円でご購入いただき、当日会場で差額分を払い戻します。）
席を必要としない子どもは無料です。託児有（要予約）。祝島物産、祝島写真展、書籍販売、DVD販売など。
チケットぴあでの購入用 P コード 556-353
駐車スペースがございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。
お問い合わせ先：グループ現代／『ミツバチの羽音と地球の回転』制作プロジェクト
Tel: 03-3341-2863 詳細は随時公式サイトよりお知らせします <http://888earth.net/>

●『ミツバチの羽音と地球の回転』自主上映会

6月より全国で自主上映会がスタート。秋に劇場公開を予定しています。

人と地域とつながる自主上映会をしよう！ <http://888earth.net/guidance.html>

これまで『ヒバクチャー世界の終わりに』、『六ヶ所村ラブソディ』、『ぶんぶん通信』を全国各地で上映して下さった方たちとつながりながら1人でも多くの方に映画を観ていただきたい。この作品を皆様と一緒に全国各地に広め持続可能を目指す地域の力にしていきたい。皆様の期待に応えられるようスタッフ一同全力で取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

●おいしくて、安全な野菜を選ぶように、電気やエネルギーも選べたら！

祝島応援ライブーポジティブエクスプレス

上関から風が吹く*潮風ライブ vol. 1

- 日時：2010年6月11日（金）18:30開場、19:00開演
出演：アコペリ（国分寺エクスペリエンス）<http://ekuperi.com/>
TAYUTA <http://www.k3.dion.ne.jp/~tayuta/>

- 場所：スペース・オルタ（JR 新横浜駅 <http://spacealta.net/>）
- 入場料 1000 円
- 祝島の人たちの生きる姿を紹介する写真展も併せて開催
- 主催 瀬戸内うみすずめ会
- 共催 ピース・サークル、スペース・オルタ
- 予約・問い合わせ スペースオルタ tel/fax 045-472-6349（予約 ファックス可、氏名、住所、連絡先明記）

【東海】

●シンポジウム「生物多様性と日本の湿地」

パートナーシップ事業



日本湿地ネットワークは、名古屋市で 2010 年 10 月生物多様性条約 COP 10 を迎えるにあたり、シンポジウム「生物多様性と日本の湿地」を開催します。

全国の皆様とシンポジウムでお会いし、意見交換や交流を図りたいと存じます。どうぞご参加をお願いします。

日 時：	2010 年 6 月 12 日（土） 13：00～16：30
会 場：	環境省所管「稲永ビジターセンター」 開場 12：15 名古屋市港区野跡 4 丁目 11-2 TEL 052-389-5821 名古屋駅より、あおなみ線「野跡駅」下車、徒歩 10 分
参加費：	無 料
主 催：	日本湿地ネットワーク（JAWAN）
協力団体：	ウェットランド中池見、小櫃川・盤洲干潟を守る連絡会、蒲生を守る会、環瀬戸内海会議、千葉県自然保護連合、千葉の干潟を守る会、日本野鳥の会徳島県支部、播磨灘を守る会、藤前干潟を守る会、和白干潟を守る会
後 援：	生物多様性条約市民ネットワーク環境省中部地方環境事務所 生物多様性条約市民ネットワーク
連携協力：	生物多様性条約第 10 回締約国会議支援実行委員会

プログラム 13：00～16：30

- 開 会 あいさつ
- 基調講演 「CBD-COP10 は何を指すのか」
高山 進氏 生物多様性条約市民ネットワーク共同代表

- ・特別講演 生物多様性「ゆたかな自然の中に友がいる」
あん・まくどなるど氏 国連大学高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長
- ・歌とダンス「湿地を讃える」 劇団シンデレラ
- ・各地の報告 吉野川河口、中池見湿地、三番瀬、盤洲干潟、ハチの干潟
伊勢・三河湾、瀬戸内海、和白干潟 etc
- ・閉 会

★シンポジウム終了後、懇親会を午後5時より稲永ビジターセンター内で予定。

参加費：1,500円（要事前申込）

★翌日6月13日（日）8：50～13：00

エクスカージョン「藤前干潟を歩く」（要事前申込）

集合場所 8：50～ 藤前活動センター

名古屋市港区藤前 2-202 TEL

052-309-7260

名古屋駅名鉄バスセンターより、長

島温泉行「南陽町藤前」下車、徒歩

15分

参加費（昼食費含む）：1,000円

問い合わせ先：日本湿地ネットワー

ク事務局 伊藤 tel/fax 048-

845-7177

E-mail : jawan2@jawan.jp



●クサフグ産卵の観察会

日時は5月26日（水）27日（木）14：30からです。

場所は南知多町大井です。

詳細についてはofficeメールでお問い合わせください。

担当：「あいちの海」グリーンマップ

伊勢・三河湾流域ネットワーク <http://www.isemikawa.net/>

【近畿】

●祝島茶会@京都出町柳かぜのね

- ・ 日時：2010年5月29日（土）昼の部・夜の部
- ・ 報告会トークゲスト（昼のみ） 三輪大介さん

上関原発予定地周辺の漁業権や、コモンズについて研究しておられる、三輪さんを囲んでの座談会！ 報告会夜の部は、昼の内容のシェアタイム+各自の活動報告が中心の、ゆったりした内容になりそうです。

●祝☆生物多様性の日パレード関西

5月22日は、生物多様性の日。国連が定めた国際デーです。

5/22 祝 生物多様性の日 パレード ON 御堂筋

2010

いのちの輪、人の和、しっかりつないで、次世代へ。

生物多様性とは
いろいろな生き物が、互いに支え合い、つながりあいながら存在すること。わたしたち人間もまた、そのつながりの中に生きています。今、この「つながり」が大ピンチ！ 生息地の破壊や汚染、野生生物の過剰利用など、さまざまな原因が絡み合い、猛スピードで種の絶滅が進んでいるのです。「生物多様性」の危機を、もっとたくさんの人に知ってもらいたい。そんなパレード、あなたも一緒に盛り上げませんか？

イラスト/マシマタケシ

13時
中之島公園
バラ園東側に集合
(詳細は裏面)

参加者大募集
老若男女
個人・グループ
みんなOK！
お子さま大歓迎！

主催 / 「祝☆生物多様性の日パレード関西」実行委員会
<http://parade1.typepad.jp/blog/>

- 日時：2010年5月22日（日・国際生物多様性の日）
14時「天神橋のらせん階段を上がったところ」から出発。ゴールは高島屋前に16:00。御堂筋南下。
問い合わせ：メール：522parade@gmail.com 電話（当日も可）090-4976-6906（眞鍋）※
平日はできれば16時以降

【中四国】

●講演とトーク「ふじつぼサロン」

～あなたをフジツボ漬にする午後～

講師 倉谷うららさん
開催日 2010年5月23日（日） 13:00～16:30
会場 大阪市立自然史博物館 講堂
対象 どなたでも参加できます。
主催 大阪私立自然史博物館 大阪湾海岸生物研究会
参加費 無料（ただし、博物館入館料が必要）
問合せ 館長の山西さんまでお問合せ下さい。

詳しくは、こちらをご覧ください。⇒ <http://www.omnh.net/whatsnew/2010/04/523.html>

●尾道れいこう堂「ぶんぶん通信上映会」

尾道市西土堂1-16（JR尾道駅裏より歩いて5秒、0848-24-6445）

○ <http://fuwawan.exblog.jp/9586731/>

尾道市のCD SHOP、live企画のれいこう堂の信恵と言います。

『ぶんぶん通信 vol.1』を毎日、朝でも昼でも夜でも1人でも2人でも10人位までなら店の2階で1人1回500円で随時70分上映してます。

持ち込み自由、見なければ伝わりません、近くの人、是非。観光の合間には是非。

1階では祝島の写真展、祝島特産品も販売もしています。

予約問い れいこう堂 信恵

090-1336-4757 reikodo.club★gmail.com

●虹のパレード

- 2010年5月22日土曜日午前11時山口県庁前庭集合
- 1時間ほどのパレード

上関原発ちょっと嫌だな～って思う人、それぞれの意志で参加しませんか。全国から送られてきた上関原発反対を意思表示する布メッセージをもってあります。

● 瀬織あや監督作品「祝（ほうり）の島」瀬戸内海上映ツアー

上映日時 (2010年)	上映地	会場名	申込先
5月28日(金) 18:00～	北九州市	北九州市男女共同参画センター・ムーブ	093-961-7618 (映画「祝の島」 上映実行委員会 稲月)
5月30日(日) 14:30～	大分市	OASISひろば21 地下 映像小ホール	090-2296-1953 (脱原発大分ネット ワーク 大原)
6月1日(火) 18:30～	岡山市	デジタルミュージアム 講義室	080-4268-5039 (「祝の島」岡山 上映会事務局)
6月2日(水)	広島県尾道市	シネマ尾道	0848-24-8222 (シネマ尾道)
6月3日(木) 13:00～(2回上 映)	広島県因島	ポートピアはぶ	0845-22-7135 (「祝の島」を 応援する会因島 青木)
6月4日(金)	広島県瀬戸田 市	瀬戸田市民会館	0845-26-4141 (根葉)
6月5日(土)13:30 ～	松山市	若草幼稚園	089-915-0619 (阿部悦子と市民 の広場)
6月5日(土)19:00 ～	松山市	松山ユースホステル	089-915-0619 (阿部悦子と市民 の広場)
6月6日(日)14:00 ～	広島市	横川シネマ	082-231-1001 (横川シネマ)



絵：西平守孝氏

4. 事務局便り：

- この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。
- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひろも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。
- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

5. 編集後記

辺野古の海は守られるかもしれないと期待したこともあったのだが、ふたたび辺野古の海に基地が戻ってこようとしている。なんとかあの素晴らしい海と海の生き物が守られるようにしたい。鳩山首相が言ったように、辺野古の海に基地を作るのは「自然への冒瀆」なのですから。

一方の上関町長島の海は、危機一髪の状態が続いている。それでも祝島の住民は工事をさせまいと体を張ってがんばっている。ようやく上関原発の問題が全国のいろんなところに関心呼び始めた。上関原発関連のイベントが各地で目白押しだ。この力の元はなんともいってもがんばり続ける祝島の人たちと虹のカヤック隊の人たち。そして、完成を早めて埋め立て開始前に間に合った鎌仲ひとみさんと瀬戸内あやさんの二つの映画（「ミツバチの羽音と地球の回転」（ぶんぶん通信）、「祝（ほうり）の島」）の力だと思う。今一度、瀬戸内海の最後の海の生き物の楽園を守るために、海の生き物を守る会もがんばりたい。（宏）

海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！

会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局 hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp（向井）まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第 60 号

2010 年 5 月 16 日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205; 090-8563-1501 メールアドレス：hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

ホームページ URL：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座：ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会